

中部大学空手道部について

○ 中部大学空手道部

中部大学空手道部は、今年で創立50周年を迎える伝統ある部活動です。

○ 空手道について

一般に空手というとき、2つの大きなグループがあります。寸止めで攻防を行う**伝統空手**と直接打撃をする**フルコンタクト空手**です（現在東京オリンピックの新しい種目として検討されている空手は伝統空手です）。中部大学空手道部は伝統空手のグループに属しています。

伝統空手には、様々な流派があり、通常道場によって教えている内容や試合ルールが違いますが、伝統空手の中でも、4つの主な流派が「全日本空手道連盟」という団体をつくり、ときに互いの流派の技を同じルールで競い合いあっています。

インターハイ（高校）、インカレ（大学）、国体では、全日本空手道連盟に加盟している団体が参加し、日本一を決めます。中部大学の空手道部の空手は、全日本空手道連盟に加盟している全日本学生空手道連盟に所属しているため、インカレ・国体につながっています。

○ 空手競技について

全日本空手道連盟の大会では、主に「組手」と「形」の2つの競技で競い合います。

組手は、効果的な打撃を相手に与えたと審判がみなした技の内容や回数でポイントを競います。試合は、男女別々で、個人戦・団体戦などがあります。試合を見るとわかりますが、伝統空手の組手試合は圧倒的なスピードです。練習では、流派を超えスピードや技を磨きます。なお、寸止めとはいえ、相手にあたるため、グローブをつけて組手を行います。試合によっては防具も装着します。

形は、空手の攻防を体系化した形を演舞し、形の理解度・技のキレ・表現力などの程度を審判が判定し、勝敗が競われます。中部大学の空手道部は、伝統的に和道会という流派に属していますが、大会では指定形とよばれる4つの流派の形によって競うので、選手によって和道会・糸東流・松濤館・剛柔流のそれぞれの形を練習します。

空手は必ずしも競技で勝つことが修練の目標ではないですが、何か目標をもって練習すると上達も早いです。

○ 昇段について

空手では、習熟段階を示す段位があります。段位には会派の段位（所属する道場が属する団体の段位）と全日本空手道連盟が認定する段位（全国統一段位）の二種類があります。中部大学空手道部に所属することで、全日本学生空手道連盟を通して全日本空手道連盟の段位を取得することができます。

○ 部活動の1年

空手道部の練習は、12月の全日本空手道選手権が終了してから2月下旬までオフシーズンとなります。

シーズン中、

授業期間内は、17:30～19:00

休み期間中は、10:00～12:00（練習時間は年度によって異なります）

それぞれ、武道場で練習します

合宿は、夏合宿と春合宿の例年2回実施します。

不明な点は、部員におたずね下さい。